【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【公開番号】特開2000-318288(P2000-318288A)
【公開日】平成12年11月21日(2000.11.21)
【出願番号】特願平11-127905
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｌ　13/18　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　47/28　(2006.01)
Ｆ１６Ｋ　 1/00　(2006.01)
Ｆ１６Ｋ　27/00　(2006.01)
Ｂ４１Ｆ　31/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｌ　13/18　Ｕ
Ｂ６５Ｄ　47/28　Ｈ
Ｆ１６Ｋ　 1/00　Ｐ
Ｆ１６Ｋ　27/00　Ｃ
Ｂ４１Ｆ　31/02　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成18年2月15日(2006.2.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　孔版印刷用のインキを収容するインキ収容部と、
前記インキ収容部に設けられた筒状口金と、
前記筒状口金の内周面に摺接する筒状部とこの筒状部に形成されたインキ通路と前記筒状部の一端を閉止する閉止部とを備え、前記閉止部を前記インキ収容部の内方に向けて前記筒状口金内にその軸線方向に沿ってこの筒状口金を閉弁する閉弁位置とこの筒状口金を開弁する開弁位置とへスライド自在に設けられたスライドバルブと、
前記スライドバルブを閉弁位置へスライドさせる向きに付勢する付勢体と、
を有し、
前記インキ収容部が孔版印刷装置にセットされたときにはこの孔版印刷装置に設けられているインキ吸引筒により押された前記スライドバルブが前記インキ通路を前記インキ収容部内に臨ませる開弁位置へスライドし、前記インキ容器が前記孔版印刷装置にセットされていないときには前記付勢体により付勢された前記スライドバルブが前記インキ通路を前記筒状口金の内周面に対向させて閉止される閉弁位置へスライドすることを特徴とするインキ容器。
【請求項２】　孔版印刷用のインキを収容するインキ収容部と、
前記インキ収容部に形成され、このインキ収容部が孔版印刷装置にセットされたときにその孔版印刷装置に設けられているインキ吸引筒が挿入される筒状口金と、
中央部から外周部に向けて形成された放射状切れ込みにより仕切られた複数のバルブ片を備えて前記筒状口金内に設けられ、前記筒状口金内に前記インキ吸引筒が挿入されたときにはこのインキ吸引筒に押されて前記バルブ片が開くことにより前記筒状口金を開弁するとともに前記筒状口金内に前記インキ吸引筒が挿入されないときには前記バルブ片が閉じることにより前記筒状口金を閉弁する分割バルブと、

を有することを特徴とするインキ容器。
【請求項３】　孔版印刷用のインキを収容するインキ収容部と、
前記インキ収容部に形成され、このインキ収容部が孔版印刷装置にセットされたときにその孔版印刷装置に設けられているインキ吸引筒が挿入される筒状口金と、
付勢部と弁体とを備えて前記筒状口金内に設けられ、前記筒状口金内に挿入された前記インキ吸引筒から作用する吸引負圧により前記弁体が前記筒状口金を開弁する開弁位置へ移動するとともにこの吸引負圧が作用しないときには前記弁体が前記付勢部の付勢力により前記筒状口金を閉弁する閉弁位置へ移動する揺動バルブと、
を有することを特徴とするインキ容器。
【請求項４】　孔版印刷用のインキを収容するインキ収容部と、
前記インキ収容部に形成され、このインキ収容部が孔版印刷装置にセットされたときにその孔版印刷装置に設けられているインキ吸引筒が挿入される筒状口金と、
前記筒状口金内に設けられ、前記筒状口金内に前記インキ吸引筒が挿入されたときにはこのインキ吸引筒に押されて前記筒状口金を開弁する開弁位置へ撓むとともに前記筒状口金内に前記インキ吸引筒が挿入されないときには自らの弾性により前記筒状口金を閉弁する閉弁位置に位置する平板状バルブと、
を有することを特徴とするインキ容器。
【請求項５】　孔版印刷用のインキを収容するインキ収容部と、
前記インキ収容部に形成され、このインキ収容部が孔版印刷装置にセットされたときにその孔版印刷装置に設けられているインキ吸引筒が挿入される筒状口金と、
前記筒状口金内に設けられ、中央部に閉止面部が形成されて周縁部に開口部が形成された弁座と、
前記筒状口金内における前記弁座よりも前記インキ収容部側に配置され、その内部にインキ通路が形成され、前記筒状口金内にその軸線方向に沿ってこの筒状口金を閉弁する閉弁位置とこの筒状口金を開弁する開弁位置とへスライド自在に設けられたスライドバルブと、
前記スライドバルブを閉弁位置へスライドさせる向きに付勢する付勢体と、
を有し、
前記筒状口金内に前記インキ吸引筒が挿入されたときには前記開口部に挿通される前記インキ吸引筒に設けられている突起部に押された前記スライドバルブが前記インキ通路を前記閉止面部から離反させる開弁位置へスライドし、前記筒状口金内に前記インキ吸引筒が挿入されないときには前記付勢体により付勢された前記スライドバルブが前記インキ通路を前記閉止面部に当接させて閉止される閉弁位置へスライドすることを特徴とするインキ容器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
【従来の技術】
孔版印刷装置におけるインキ供給構造の一例を図１５及び図１６に基づいて説明する。孔版印刷装置の印刷部には、軸線を中心として回転駆動される多孔性円筒状の版胴１、版胴１に対して接離する方向へ移動自在に設けられたプレスローラ２等が設けられている。画像データに応じて製版部（図示せず）で製版されたマスタ３が版胴１の外周面に巻き付けられた後、プレスローラ２が版胴１の外周面に巻き付けられたマスタ３に当接する位置へ移動し、版胴１とプレスローラ２との間へ印刷用紙４が送り込まれることにより印刷が行われる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
【課題を解決するための手段】
請求項１記載の発明のインキ容器は、孔版印刷用のインキを収容するインキ収容部と、前記インキ収容部に設けられた筒状口金と、前記筒状口金の内周面に摺接する筒状部とこの筒状部に形成されたインキ通路と前記筒状部の一端を閉止する閉止部とを備え、前記閉止部を前記インキ収容部の内方に向けて前記筒状口金内にその軸線方向に沿ってこの筒状口金を閉弁する閉弁位置とこの筒状口金を開弁する開弁位置とへスライド自在に設けられたスライドバルブと、前記スライドバルブを閉弁位置へスライドさせる向きに付勢する付勢体と、を有し、前記インキ収容部が孔版印刷装置にセットされたときにはこの孔版印刷装置に設けられているインキ吸引筒により押された前記スライドバルブが前記インキ通路を前記インキ収容部内に臨ませる開弁位置へスライドし、前記インキ容器が前記孔版印刷装置にセットされていないときには前記付勢体により付勢された前記スライドバルブが前記インキ通路を前記筒状口金の内周面に対向させて閉止される閉弁位置へスライドする。